



つわの

12月定例会

議会だより

平成26年 第10回定例会

- 新年のあいさつ 2
- 補正予算 3
- 一般質問 4～8
- 条例改正 9
- 所管事務調査・契約案件 10
- 賛否表・請願・全員協議会 11
- この人にインタビュー・編集後記 12

No.37 (2015)

平成27年1月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：津和野印刷

平成27年 津和野町成人式 1月3日開催



新春を迎えて

津和野町議会

議長 沖田 守

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、新春を御健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

去年は、台風災害、広島市の土石流災害、御嶽山の噴火、長野県北部地震等の自然災害が起りました。被害を受けられました皆様に心から御見舞い申し上げます。

また、島根県においては、出雲大社の権宮司千家国麿さんと高円宮家の次女典子さまのご成婚、錦織圭さんの活躍など明るいニュースがありました。津和野町においてもJR山口線の全線復旧に伴うSL運行の復活で観光客も戻ってきております。

国においては、年末の解散総選挙があり、地方創生などの政策がこれから打たれようとしています。経済の先行きに明るい兆しが見られるものの、

TPP交渉、農業政策の転換による米価の下落、消費税増税等々地方にとって不安を抱かざるを得ないことも多く見受けられます。日本の明るい未来が見える年を期待したいものです。

そうしたなか、我が津和野町においては、災害からの復旧、復興にまず最優先に取り組まなければなりません。同時に定住対策、子育て支援、地域医療、集落支援等々課題は山積をしております。

私も議会も昨年改選し、議員定数は四人減の十二人となりましたが、皆様の声や御気持ちをしつかりと受け止めて行政に反映させ、議会本来の役割を果たすべく、自己研鑽に努め、渾身の力で進んでまいります。新春にあたり決意を新たにしているところでございます。

最後に町民の皆様方のご健勝とご多幸を、心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 正月

歳 出 (主なもの)

※千円以下切り捨て ▲ = 減額

(主な質疑)

- ・町営バスラッピング業務委託料 …………… 72万円

Q : 現在使われているバスラッピングのアンベルマンはどうするのか。

A : 新しく購入したバスから随時つわみに替えていきたい。

- ・公有財産購入費 (旧三松園用地購入) …………… 1546万円

Q : 埋蔵文化財資料室 (旧三松園) の土地は借りていたのか。

A : 5年の契約で借りていた。更新の年である。

- ・普通旅費 …………… 110万円

Q : あと3カ月なのに普通旅費の追加額が多いのはなぜか。

A : 災害を受けての要請行動などが増えたため。

- ・災害復旧費 工事請負費 …………… 5256万円

Q : 査定後の精査による農地災害復旧工事費とは。

A : 査定を受けていたが、土砂に覆われて見えなかったもの。申請なかったが後で出てきた工事費。

- ・商工費 津和野駅前駐車場システム改修工事 …… 896万円

Q : 駐車場の何が不具合なのか。

A : 発券機、料金精算機が平成11年に付けたものなので良く故障する。

その他の主な歳出

- ・総務費 ふるさと津和野基金への積立金 …… 310万円

- ・衛生費 水道未普及地域の給水事業費助成金 …… 100万円

- ・教育費 工事請負費 …………… ▲2750万円

青原小学校校舎改築の工期変更に伴い、ソーラーパネル設置工事を次年度に繰り延べによる

11月13日臨時議会

- ・総務費 地域公共交通対策事業費 …… 5662万円

タクシー事業：事務所や車庫等の建物および車両などの資産部分を第三セクターが保有し、運行事業をその資産を利用して民間事業者が行う

12月議会の
主な補正予算の内容

9764万円追加の補正予算案可決
総額102億4381万円

Q 教育委員の任命の基準は

A 法律・地域間バランス・本人の意欲など



議員 寺戸昌子 問 来々4月から始まる新しい教育委員会制度でも①中

央集権でなく地方分権②民意の反映③一般行政からの独立という根本方針が変わっていないとされるが、教育委員長と教育長が一本化される。首長の教育に関する考え方が色濃く反映される可能性があり住民自治が守られるか懸念される。教育委員会が住民の悩みや要求を吸い上げて活動する機能を十分に発揮できるのか。

町長 教育委員会は引き続き合議制の独立した執行機関に変わりない。指摘の点について懸念にならないと考える。

問 教育委員はどのような基準で選ばれ任命されるのか。

町長 法律に基づくとともに、地域間のバランスや本人の意欲などを加味して任命する。

Q 島根県避難者の受け入れ計画はできているのか 具体的な計画はできてない

A きてない

問 県広域避難計画では島根県に万が一の時、2千人の避難者を津和野町に受け入れることになっている。全町人規模の手助けが必要となるが計画はできているのか。

町長 県や松江市との詳細な協議が整っていないので具体的な受け入れ計画は定めていない。

Q 青原小学校舎工事の変更情報を伝えるべきだったのでは 今後は伝える

A 今後は伝える

問 突然の延期の報告に保護者は戸惑っていた。変更の場合その都度報告するべきでは。

教育長 今後は工程会議の内容を報告し、変更はその都度連絡する。

Q 津和野高校の寮の改修は 全室を今年度内に改装予定

A 改装予定

問 ホームページの評判がよいが持続的に取り組めるか

課長 持続的に取り組み中学生や保護者が見やすいようリニューアルする。

Q 地方創生対策にどう臨むのか

A 国・県の動向を踏まえ「地方版総合戦略」を作成



議員 草田吉丸 問 「まち、創生法案」など地方創生関連2法案が成立した。少子高齢化に伴う人口減少にどう対応し乗り越えていくのか各自治体の生き残りをかけた総合戦略作りが待ったなしで求められている。津和野町としてどの様な体制で、内容的に何を重点に「総合戦略」を策定されようとしているのか。

町長 国及び島根県の総合戦略を勘案しながら一刻も早く取り掛かりたい。当面庁議の場において町内の地図に各施設を落とし、地域課題を浮き彫りにする作業に入りたい。体制的には全職員の意見も取り入れながらコンサルタントの力も借り最終的には庁議の場で決定したい。

Q 雇用の場確保は 情報通信企業に期待

A 情報通信企業に期待

問 産業創出による雇用の場確保が最も重要課題と考えるが対応策は。

町長 空き家を活用した「T企業誘致が実現した。これを見本としてさらに取り組みを強化したい。また遅れている情報通信施設整備を計画中である。

Q 林業振興策は 路網整備やバイオマス発電に取り組む

A 路網整備やバイオマス発電に取り組む

問 林野率90%の津和野町にとつて山を生かすことは地場産業の育成や雇用対策として取り組むべき重要課題である。公益的機能にも配慮した林業振興策について。

町長 伐採後の植林施業など循環型林業が見込めない皆伐施業はすべきでないと考えている。長伐期施業に転換を進める。広葉樹については定期的伐採で天然更新が必要。路網整備は環境に配慮したうえで、林業専用道を開設し、その中に作業道や搬出路網を作り路網密度を高めた。自伐型林業推進のため指導者養成と所得向上のため木質バイオマスガス化発電についてさらに調査研究を進め導入に向けて取り組んでいきたい。

【その他の質問】

* 地籍調査について

Q タクシー運行事業者決定は

12月19日に審査決定



議員 問
タクシー
運行業者募
集及び審査
決定の進捗
状況は。

町長 4社から問い合わせがあり、12月19日に審査委員会を開催し、公募型プロポーザル方式により、提案金額や事業内容を総合的に評価し、優れた提案を行った事業者を賃貸契約の相手先として採用の予定。

Q 「米パン焼き器」の成果は

一定の成果はあったと思う

問 平成24年6月実施の米消費拡大目的で導入された「米パン焼き器」購入の補助金成果はいかがであったか。

町長 平成23年144件、24年50件の交付実績があり、家庭での米消費に着目した施策である。

Q 観光案内板へのお土産品の記載は

町の景観との調和で検討していく

問 6次産業化を実践し、観光土産品としての農漁業生産物の宣伝、広告の拡充が必要だと思う。そのためには、観光案内板に当町の名産品、土産品、特に「鮎、わさび、里芋、地酒、源氏巻」等の記載をすべきだと思うがいかがか。

町長 サイン計画に基づいて順次観光案内板の整備を進めているが、お土産品の記載は、景観との調和を考慮して今後、協議検討していきたい。

Q ファウンディングベースの関わる「町営塾」の成果は

実績を着実にあげている

問 中学生まで塾の拡大を望むがいかがか。

教育長 その必要性を認め鋭意、検討中。

Q 山陰自動車道益田萩間に「津和野インター」設置を

その必要性を認める

問 「地方創生」にて実現を。

町長 国の動向を踏まえ、必要性を検討していく。

Q 殿町景観整備を計画的に

今後改善策を検討する



議員 問
津和野
観光メイン
の殿町掘割
の菖蒲棚に
灰色蛙波が

数か所飛び出し、棚内の菖蒲は枯れて倒れたままである。

大橋袂の鷺舞像は建立後20年経過で果敢となつている。

観光客70万人が訪れる町観光の中心である。棚崩壊は即修理、菖蒲は計画的に刈取り、鷺舞像の清掃をしてはどうか。

町長 菖蒲棚は歴史的風致維持向上事業で観光シーズン終了後整備予定で観光客への配慮に欠けており反省する。鷺舞像の清掃員は2名であり、今後管理改善を検討する。

Q 造り酒屋の杉玉復活で町並み環境アップを

杉玉職人不在が問題である

問 地場産業の造り酒屋の発展と町並み環境アップを兼ね、軒先に杉玉復活の呼びかけを。

町長 「伝統あるまちなみ保存整備」の為杉玉復活は望むところで

あるが、杉玉職人不在で毎年更新されていない。

Q ふるさと納税増収で地域活性化を図れ

お礼特産品の多面化を図る

問 来年3月完成予定のCAS冷凍機活用でふるさと納税大幅増収を目指せ。CAS冷凍は解凍後、味、香り、食感が生のままの優れもの。

お礼特産品に津和野牛肉、お菓子等の他に、生鮎、焼き鮎、ツガニ等、更に宿泊券、神楽面、陶芸品等を加え大幅に増やしてはどうか。

近くの浜田市はお礼特産品96品目で12月で5億円突破し2億5千万円の収入、一方津和野町は22品目の748万円で収入は310万円と桁違い。お礼特産品のシステム変更も必要。

例えば納税額1億円の50%を地元お礼特産品発送で5千万円の町経済効果と雇用、定住促進に繋がる。

町長 CAS冷凍で特産品の多面化を図り増収に繋がると期待する。関係各課と連携を図り特産品のメニュー作りと還元率の見直しを検討する。ふるさと納税者の気持ちに更に促進する仕組みづくりを進め、納税の活用策を検討する。

めいたぞの整を備を高駢
者住そ一サ
進駢を駢駢



板垣敬司議員
自治体に主
で、地方の
「推進法」
「介護保
護」を「合
意領域」に
問

[illegible]

か。のうな対応策を講じておられる

[illegible]

したい
準備委員が、選挙区



川田 副議員

加しやいす日少程調整にいて民が今後
いた。町間で情報交換を行つては今後
各々決める。程日益の關係は合ないから
連盟等の關係は合ないから
教育費程にいては協や各
見を。
心を心がけて頂きたいと考へるが所知
をやす日程と調整し関係者への周知
事日程等も含め地域の出入り
そこを周入の出入り
来ないかとあ。
来にようス日行事に参加する行
事か美さられ、地域では様々な行
あ。

来年度、策定委員
会を立ち上げる
入札、推進計画



* 林業に於ける保障体制

*介護福祉計画

7
Y
*

【その他質問】

策定に向けて取組んでいきたい。画策委員(仮称)を立ち上げ、教育長、来年度、入試推進計

[illegible]

Q 第6期介護事業計画策定に伴って各事業の充実を

事業所と協議しながら充実を目指す



京村まゆみ議員
問 介護保険料改定の時期は。また制度改正に伴う

要支援1、2の方のサービス内容の変更は。

町長 27年度4月から上がる。継続利用が必要とケアマネジメントにおいて認められる場合は同等のサービスができるよう調整していきたい。

問 介護予防事業の効果を検証し事業評価を計画策定に反映させるためには、対象者の参加の有無などデータの分析や一元化を努力すべきでは。

町長 行政の評価指標を基にしているが実施主体や形態が様々であり一元化は難しい。

Q 子ども子育て支援新制度による保育園体制は

町内3か所の保育園を地域型保育所として認可する方針

問 地域型保育所となるのはどこか。

町長 木部保育所、直地児童館、山のこども園「うしのしっぽ」の3園を町として認可する。他の4園は県の認可保育所のままで設置予定。

問 保育料徴収、保育時間など変更があるのか

町長 保育料徴収方法は変わらないうが、保育料算定の基準が所得税額から市町村県民税額による階層区分に変更となる。また保育時間については、保護者の就労状況などにより新設される3つの保育時間認定に合わせての利用となる。

問 保育所統合問題は保育士不足が一番の原因と言われていた。民間委託の考えはないのか。

町長 社会福祉法人の立ち上げまたは委託を検討中である。

Q 空家調査は進んでいるか

遅れているが自治会長への聞き取りなど順次進める

【その他の質問】

一、空家対策と定住
一、学校再編計画はいつまで効力があるか

Q 入札に総合評価制度を導入すべきでは

必要なものから総合評価を導入する



岡田克也議員
問 住民の命に関わる輸送・運送業者の入札は、事故や

違反の有無、雇用内容、住民への対応等を審査し、建設・建築業者は、工事の質や町内への下請けの発注等の地域貢献度等も、入札金額と共に総合評価すべきと考えるが。

町長 災害復旧で早急に事業完了の必要があり、現在取り入れていないが、国・県の要請があり、総合評価制度を必要なものから導入する。

Q 疲弊する日原商店街の振興策を

アーケード更新や高津川等のイベントを開催する

問 JR山口線的全線復旧や西日本初となるD51機関車の運行決定が津和野地区の観光振興になる。反面、日原地区は鮎の不漁等、疲弊が深刻であり、商店街の振興策が甚だ遅れている。古いアーケードの更新や、高津川等を活かした

振興策を行うべきではないか。

町長 清流日本一高津川や日原地区の優れた食材を使ったイベント開催、アーケードの更新、CAS冷凍システムの活用、空家再生整備等、日原地区中心街の活性化を目指す。

Q 低所得者が必要な医療を受けられる事業を行うべきでは

新たなセーフティネットを構築する必要性がある

問 生活保護を受給していない低所得者が、必要な医療を受給できるように、無料低額診療事業や母子等一人親家庭の医療費無料化等の導入を検討すべきではないか。

町長 経済的理由で必要な医療が受けられないことがないように、新たなセーフティネットを構築する必要がある。

Q 津和野高校魅力化と小中学生対象の公営塾の導入を

津和野の公営塾が注目を受け、教職員の努力で関心が高まっている。小学生から高校生までの学力向上対策を検討している

Q 平成27年産米生産目標数値量配分後の対応について

A 飼料用米、飼料用稲等の新規需要米作付を推進する



問 農林水産省は27年産主食用米生産数量目標を前年産より14万ト減の751万を配分。27年6月末の民間在庫量は230万トの見込み。米価安定には米の需給均衡施策が必要で、飼料用米等への転換が焦点となる。当町の施策は。

町長 来年産は、主食用米作付は減少、新規需要米作付は増加予想。飼料用米等の普及拡大に向けた取り組みをJAと連携して推進していく。

問 各集落の水田転作推進員へ、次年度における主食用米の生産面積や飼料用米等の作付希望調査の結果はどうか。

町長 現段階の集計数値は示せないが、主食用米の減少、新規需要米の増加予想である。

問 主食用米の需給調整で米価を高め、農業所得を確保するため、

各集落の米需給調整の転作対応の協議が重要。津和野町農業再生協議会の早期開催が必要ではないか。

町長 できる限り早い対応とする。

Q 豪雨災害からの復旧工事の状況について問う

A 11月末現在の工事の契約率は70%、竣工率は12%である

問 工事の遅れが聞けるが、工期内完成は可能なのか、進捗状況は。

町長 工事契約基礎額は、査定ベースで450件21億7600万円の内、11月末現在の工事契約状況は317件、15億3千万円で、契約率70%である。竣工状況は部分竣工を含め92件、2億5700万円の12%である。災害復旧工事は期間が3年、繰越含め4年、29年3月までに完成が必要。

問 災害対象で調査漏れ箇所への対応が必要である。

町長 事業の採択用件外の箇所、調査漏れ箇所は、通常事業の対応とする。土石流等の危険性があり、保安施設が必要とされる自治会にあっては、建設課に要望いただく。

Q 子育て世帯特例奨励金制度の実現は

A 広く効果の及ぶ支援を図りたい



問 合併後人口が約1700人減少し、現在8030人

である。少子高齢化は益々増加する。県内市町村の約8割強が近い将来消滅の危機があると公表された。定住し子育てを頑張っている若い夫婦の姿に目を向けて、子ども5人以上の世帯100万円、300万円、7人以上は300万円、500万円の特例奨励金の制度を検討されたい。

町長 少子高齢化は深刻な問題で、定住促進を重点課題としている。保育料軽減措置、無料化等実施している。個別世帯等への給付的支援でなく、すべての子育ての方に効果の及ぶ支援を図りたい。

Q 松枯れ対策は

A 施肥や適期の薬剤散布を行う

問 歴史と文化の町、山陰の小京都と観光宣伝されている当町の重点地域である、公民館を中心に松枯れ病が蔓延している。記念の植樹木もあり、樹医の診断対策は。

教育長 「赤班葉枯病」「葉ふるい病」等が主要因で黒松6本、赤松2本、桜の日陰で衰弱気味の黒松4本がある。施肥や薬剤散布を本年同様行う。陰になる原因の遊歩道沿いの桜を伐採するしかないが、桜は町のものではなく現状では難しい。養老館裏の松は町で処分、三五舎薬局前の松は土木事業所で処分される。

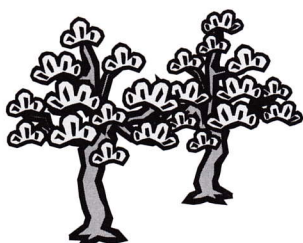
【その他の質問】

一、まちなか再生事業

一、歴史的風致事業

一、つわの暮らし推進住宅建設問題

一、青原小学校改築問題



条例改正・制定

町長、教育長給与削減条例案否決

青小工事遅延の責任問題に意見拮抗

今定例会に14の条例案が上程。そのうち最終日に追加提案された青原小学校校舎改築工事の遅延に対して行政責任を取るという町長、教育長の給与削減条例案の2案を、賛否拮抗の末否決した。

*町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

町長について…現行平成27年3月まで10%減額中の給与を1月から5月まで20%削減

*教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定

教育長について…平成27年1月から3月まで10%削減

《《 主な反対討論

- *気持ちにはわかるが不測の事態による遅延だ。全国的な材料不足、型枠作業者不足、災害による遅れもある。町長、教育長、業者の責任は全く感じない。
- *責任を負うべきは町長ではなく業者ではないのか。
- *原因は推定出来ない基礎工事による。誰の責任か問うのは難しい。
- *保護者はこんなことを求めている。それよりも遅れた期間の学校生活に対してしっかりサポートすべき。

《《 主な賛成討論

- *間髪いれない町長の決断に敬意を表する。青原小学校保護者へ真摯な謝罪、業者に対しては工期を厳守するという公平性につながる。これを議決することによって議会は信頼を回復しなければならぬ。
- *減築設計も提案したが検討もされず押し切られた感がある。
- *解体工事の随意契約の議決に賛成したものとして遺憾の意を感じている。議会の議決は提案、執行権より重たい。一定のけじめとして受け止める。

可決した主な条例案

***つわの暮らし推進住宅の設置及び管理に関する条例の制定**
青原と左鐙合計5戸の住宅を始めとして5年間で25戸建設予定のつわの暮らし推進住宅の設置や管理のための条例

***津和野町保育の必要性の認定基準などを定める条例の制定**
子ども子育て新3法の施行に伴いこの条例の他、家庭的保育事業、地域型保育事業、放課後児童健全育成事業など4つの関連条例を制定した。

***賛成討論** 多様な保育、教育ができるための法改正でもあるので認定こども園設置も検討されることを望み賛成する。

・所管事務調査報告・

○総経済常任委員会

津和野町の農業振興について JA西いわみへ聞き取り調査

出席者：橋本組合長・伊藤部

長・田中次長・榊生産

組合長（百姓塾講師）

田中幸一

農林課 久保・宮内

委員◎岡田・○御手洗・後山・

三浦・丁・草田

○調査意見等

※米価格下落対策

JAとしての対策

①水稲生産資材の購買未収金

決済日の延期措置

②稲作経営安定緊急対策資金

の交付措置

③稲作経営に必要な運転資金

の無利子融資措置

④飼料用米への転換

意見：米価格の大幅下落は、

農業経営を圧迫し、離農によ

る耕作放棄地の増大や更なる

過疎化を招くため、JAと連

携して必要な措置を講じると

共に、国や県に対して必要な

要請を行うべきである。

※JA島根県下統合

組合員数で全国最大となる

JA島根県下統合は、広域化と大規模化で経営効率を高め、収益を農業振興に注ぎ込む。町とJAは一層の連携を深めて、農業振興策を講じていくべきである。

※CAS冷凍システム活用

CAS冷凍は、農水産物に付加価値を付けるため、農業者や飲食店等の方々から大きな期待が寄せられており、町とJAや農業生産者等が連携して農水産業の活性化に繋げていくべきである。

※百姓塾受講者定住支援

現在20数名在籍する百姓塾の受講生が町内で新規就農することは最大の定住対策となる。国や県の補助金を精査活用し、町単独の支援策も検討して、空家の改修・確保、農業機械・農地の確保等、最大限に必要な支援を行うべきである。

○文教民生常任委員会

地域包括ケアの現状及び調査について、津和野町社会福祉協議会・医療対策課・健康福祉課に対する聞き取り調査

委員◎米澤・○京村

板垣・川田・寺戸

○調査意見等

※高齢者施設の充実

高齢者の施設やサービス利用は今後当分の間続くと予想され、特別養護老人ホーム入所待機者解消のための増床や中間施設中間施設等を早急に整備すべきである。

※介護従事者確保対策

津和野町の高齢者人口は3千3百人前後で推移するため、介護従事者確保のための処遇改善等の検討をすべきである。

※配食サービス

配食サービスは週2回であるが、ニーズや健康維持と介護予防、安否確認のためにも回数増を検討すべきである。

※要介護者生活支援

介護保険対象外のサービスについて、おむつ一部補助、バス代、タクシー代補助等の町独自の付加的生活支援を計画に盛り込むべきである。

※利用者データの一元化

介護予防事業等は、健康福祉課、医療対策課、民間事業者への委託等、運営主体が分かれており、予防事業の効果を検証し、次期計画へ反映させるために、利用者データを

一元化したカルテ作成に努力すべきである。

※要支援1・2の介護事業の移行対策

平成27年度の介護報酬改定により、平成29年度までに介護予防給付要支援1・2の訪問介護と通所介護が、新しい総合事業に移行となる。介護サービス提供事業者の供給能力を調査し、介護予防・生活支援サービス等を新事業に移行し、ニーズに合った事業を実施すべきである。

【ご案内】文教民生常任委員会

請願審査における懇談会のご案内
皆様のご意見をお聞かせ下さい。

日時 平成27年2月8日(日)

13時半～15時半

場所 左鐙公民館

内容 左鐙小学校の存続について

契約案件

●つわの暮らし推進住宅整備事業契約の締結

契約方法 随意契約

契約相手

津和野にすもー家株式会社

契約金額

V、PHV車用の急速充電を設備

この人にインタビュー

わさびで田舎を盛り上げたい!



日原わさび生産組合
組合長
大庭 敏 成さん

***わさび栽培に取り組まれた動機についてお尋ねします。**

代々家族でわさび栽培に取り組んできたことと地元で働きたい想いがありました。農業大学卒業後、静岡に2年間研修に行き、平成12年に帰り今日を迎えています。

***先進的なわさび栽培方法等取り組まれています。**

渓流式を改良した畳石式栽培工法を新たに取り入れまし。た。労力節減にも繋がり、災害にも強く、収益率がよいため地域普及に努めてきました。一方、災害等の影響を受けない加工原料としてハウス栽培にも力を入れてきました。

また、静岡から新品種をもらい試作を重ねるうちに大きなものが出来るようになりました。在来品種を生かすことも大切ですが、品種改良もお

もしろいです。3年前から生産組合でも取り組みをはじめ良いものが出来るよう研究しています。

***11月に開催された全国わさび生産者大会についてお聞きします。**

地元開催だったため生産者の方には例年になく沢山の出品の協力を頂きました。また、津和野町産は品質的にも優秀なものが多く、これまでの取り組みの成果を確認でき自信につながりました。

***趣味についてお聞かせください**

鮎かけが大好きで特に大会に参加するのが楽しみです。今年長良川で行われた全国大会に初めて出場し全国トップクラスの人と対戦できたことはとてもいい思い出になりました。農業をやっていると時間が作れるのでサラリーマンの人には味わえない喜びもありますよ。

***津和野町では今年度CAS冷凍システムを導入します。これに対する期待は如何でしょうか。**

成功するためには商品開発と売り方が大切でバイヤーの育成等が必要だと思っています。加工場と生産組合では商品開

発の研究を始めています。農家所得向上のためにも大変期待しています。

***今後のわさび栽培についての挑戦や夢についてお聞かせください**

取引先のマルサ食品や金印からの需要は多いので生産量を増やす必要があります。ハウスによる短期栽培講習会を開き生産者育成に取り組んでいます。来年度JAの協力も得てハウス団地を造る計画があります。これを契機に町内にわさび栽培が広がることを夢見て仲間と一緒に頑張りたいと思います。

***議会に望むことがあればお聞かせください。**

町の基幹作物として支援してもらっています。定年退職者でも元気な農業が出来るように支援して頂きたいと思っています。

***ありがとうございました。**

聞き手：草田吉丸（12月28日取材）



編集後記

〇めでたさも

中くらいなり おらが春

小林一茶

▼新しい年を迎え気持ちも新たに、中くらいの幸せと、災害のない平穏無事を願い神様に手を合わせます。

▼農産物価格下落でも地域を盛上げようと頑張る若者の本音を面白く表現しています。

〇悩みなし ストレスもなし 金もなし

〇つくるより 買うのが安い でもつくる

▼地方創生元年、国の本気と地方の本気が試される年になりそうです。

〇良くすると 思う気持ちが町変える

▼本年も読みやすく皆様に親しまれる広報づくりに努めてまいります。

草田 吉丸

議会広報編集委員

◎岡田 克也 ○川田 剛

後山 幸次 京村まゆみ

草田 吉丸 寺戸 昌子